



平成 25 年 宇佐市消防出初式



平成25年宇佐市消防出初式が宇佐市総合運動場で盛大に行われました。宇佐市消防団(末宗敏雄団長以下850名)と、宇佐市消防本部(呉藤孝幸消防長以下80名)が出場しました。

消防団協力事業所



宇佐市消防団協力事業所表示制度は、平成23年4月より始まったもので、宇佐市消防団に積極的に協力している事業所又はその団体に対して、交付されます。

- ・有限会社 小野屋 ・下村建設株式会社
- ・賀来石油株式会社 ・株式会社 CKK 本社宇佐工場 ・三和酒類株式会社 ・大分県農業協同組合 宇佐事業部
- ・大分県農業協同組合 安心院事業部 ・JFおおいた宇佐支店 現在8つの事業所に交付されています。

むつみ幼稚園幼年消防クラブ マーチング演奏

宇宙戦艦ヤマト

栄光の架橋

HANABI

楽器の演奏は年長組、カラーガードや

フラッグを担当するのが年中組、合計38名が

素晴らしい演奏を披露して下さいました。



分団紹介

第10分団 分団長 高橋 秀幸

分団の自慢

第10分団は長洲浜部を管轄。分団長以下1部30名2部34名の計64名で活動しています。

火災、災害の出動時における行動力、団結力はトップクラスであります。

今後も分団員一丸となり防災、地域ボランティア活動に活躍して参ります。



分団長のひとりごつ

最近若者がめっきり減ってしもうた。消防活動に強き志のある新入団員を求めています。幅広く大きく門を開け募集しちよるき“来たれ10分団へ。待ちよるでー”

H24年度 大分県防災士養成研修（1月19日、20日）を受講して 消防団 女性部 長谷川 洋子

二日間の研修。試験前から防災については関心があり2012年3月11日の東日本大震災を経験して、ますます防災について関心が深まりました。私はテレビと新聞などしか情報を得る事ができませんでしたが、本当にこんな事があるのかと目を疑いました。自分に何が出来るのかと考えた時、義援金を振り込む事位しか出来ない自分の力無さを実感しました。横浜に住む息子も交通機関がストップし何時間も歩いて帰宅しました。その時、携帯電話もつながりにくくメールでやり取りをしました。懐中電灯やティッシュペーパー、電池などを送ったのですが、宇佐市でも品薄になりなかなかそろいませんでした。想定外という言葉が飛び交う中人間が考える力などは自然には太刀打ちできないのだと言う事を思い知らされました。

今回の講義を受けて、発災時には自分の命は自分で守る（自助）

地域で協力して被害を最小限に抑え、被災した人を救助する（共助）

建物の耐震補強、家具などの転倒防止、非常持ち出し袋の準備

家族で避難場所などの確認など自分で出来る減災を実行する事

いかに日ごろから防災についての意識が大切かを感じました。

いろいろな災害について学びましたが、改めて防災についての知識向上が出来て良かったと思っています。

【自らの身を守るため、県民安全・安心メールに登録しましょう！！】

- 登録すると、携帯電話に大分県内の災害情報が届きます。
- 配信される主な情報
(気象警報、地震情報、津波情報、火山情報、土砂災害警戒警報、避難情報、緊急情報)
- 登録サイト：<http://.bousai-oita.jp/>
- 詳細は大分県ホームページで確認できます。 <http://pref.oita.jp/>

登録用QRコード

